



第55代理事長 向畑和典

この度、伝統ある大阪菓業青年クラブの理事長という大任を仰せつかりました、向畑和典でございます。今日まで数々の実績を重ねてこられました歴代の諸先輩方の後を引き継ぎ、いかに発展させて行かなければならないかと思うと、その責任の大きさに身が引き締まる思いでございます。しかし、お引き受けした以上は、会員皆様方と協力して一生懸命務め させて頂く所存でございますので、皆様方のご支援、御協力の程、宜しくお願

い申し上げます。

さて、数年前より我がクラブは「開発推進部」を立ち上げ、長期的な継続の元、新入会員増強に力を入れております。また、それに伴い皆様方の御協力もありわずかながらですが新入会員も増えてまいりました。しかしながら残念なことにて退会される会員様もおられるのも現状であります。

会員の増員は永年の課題でもありますが、昨今の厳しい状況下でいかにして新しく青年クラブに入会して頂くか、また、現会員の減少を抑えるか、これからも「開発推進部」を 軸に模索、活動し、皆様の御協力も頂き会員増強に努力して行きたいと思っておりますので、何卒、ご理解頂き、ご支援・ご指導の程宜しくお願いいたします。

また、会員増強も当然のことながら、せつかく新しく御入会して戴いた皆様への心配りもおそろかにしてはいけません。まずは班単位で、新入会員様が一日でも早く本クラブに 溶け込んでいただけるよう考え、自ら参加することの喜びを感じていただき、そして、青年クラブのいろいろな事業に積極的に参加して頂くように導く努力をする。そのように現 会員が青年クラブの魅力を少しずつでも新会員に伝えて行き、育ててゆくのも大切な役目であると思っております。

なお、本年度事業といたしましては、これまでの伝統的な行事を継承しつつ、厳しい状況下であるからこそ、「さらなる躍進」をテーマに目標を掲げ、諸先輩方々のご意見を尊重しつつ若い会員の意見も多く取り入れながら活動してまいりたいと思っております。 それには、基本的なことではありますが、会員相互の親睦をより深めて行くことが不可欠であります。

これは、少しでも多くの会員皆様方に参加していただき会員相互の交流をよりいっそう深めることにより、自己研鑽にもなり、今後のクラブの活性化につながって行くのでは ないかと考えているからであります。そして、その交流により、会員方々の数々の経験や知識を吸収しながら人間形成されて行くものと思っております。

また、私自身も青年クラブの入会当初より、今まで色々な行事に参加させていただく事により、業種の違う多くの方々と出会い友人ができ、そして、諸先輩方々には数々のこと を学ばせていただきました。

この事は大変貴重な財産になっている事を実感しており、次世代を担う若い会員様にも身を持って体感して頂き、あらゆる方面で、生かして頂きたいと思っております。 会員一人ひとりが、青年クラブの良さを感じ、一致団結し強固な協力体制を確立できれば、さらなる大阪菓業青年クラブの発展に結びつくことと確信しております。 最後になりますが、役員一同、これからも、よりよい大阪菓業青年クラブを目指し運営し創造してまいり所存でございますので、何卒、皆様方の御指導、御鞭撻の程宜しくお願 い申し上げます。

はなはだ、簡単、措辞ではございますが、これを持ちまして理事長就任の挨拶とさせていただきます。